

わたしは、東京都の小中音楽、初受験で1次通過しました。  
働き、家事をしながらの勉強は、なかなか大変でしたが、  
勉強の仕方次第で、1次は、必ず受かると思います。

今日（8月21日）、無事2次試験が終わりました。

わたしは、決して学力が高い方ではありません。

1日平均すると、5時間くらい働いていました。

（9 - 17時で働いていて、合格された人は、本当にスゴイ！！と思います。）

6月も、7月も、遊ぶときは、遊びました。

教員採用試験の勉強は、半年くらいやりました。勉強するときは、集中してやる、  
といった感じで、やりました。

以下のような勉強方法で合格をしました。

この方法が少しでも、皆さんのお役にたてれば、と思います。

（1次試験）わたしの勉強の仕方

教職教養（この方法で自己採点、9割以上とれました！！）

〔問題集〕

- （1）ランナーで基礎固めをする。（丸暗記をする必要はないけど、なんとなく覚える。）
- （2）大阪図書の教員採用試験シリーズ「関東・北甲信越エリア」で問題を解いてみる。
- （3）時事通信社の雑誌「教員養成セミナー」の教育ニュースなどに目を通す。
- （4）東京都教育委員会のHPを定期的にチェックして、ノートにメモする。
- （5）仕上げに、薄くて小さい問題集を解く。

（法規、原理、心理、教育史全部を揃えて）

わたしは、ランナーと同じ会社のものを使っていた。

出来なかったところは、繰り返し解く。（特に法規と原理）

〔辞書〕

- （6）小学館の「最新教育基本用語」
- （7）協同出版の「教育小六法」
- （8）学習指導要領

この3冊を辞書代わりにして、調べたところには線をひく。

時々、東京都の過去問を解き、自分の勉強していることが、東京の対策として  
道が外れていないかを検証する！！わたしは、どうしても道がそれる傾向があるの

- で、意識的に「自分の勉強していることは無駄ではないか？」を検証しました。  
問題集の間違ったところには、×を書き、何度も×が出るところは、ノートに写す。
- (9) 教員採用試験の掲示板で、時事通信社の通信講座の教材を無料で譲り受ける。  
これも、大変役に立ちました。

一般教養（この方法で7割とれました。）

- (1) 過去問を解く。  
(できなくても、あきらめない！！)
- (2) 特に理科が苦手だったので、中学生用の参考書「ニューコース」を  
1年から3年まで古本屋で揃え、欄外の「ちょっと知っておくとオトクだよ」みたいなページを時々読む。
- (3) 広辞苑（電子辞書）を持ち歩く！！  
今年は、台湾の新幹線や、参審制（だっけ？）間違えやすい慣用句などが出たが  
どれも、新聞に載っていたこと。毎日、新聞には目を通して、（簡単にでいいから）  
分からないこと、気になることは、すぐに辞書をひく、メモをする癖をつける！！
- (4) 一般教養の天才（早稲田経営出版、小林公夫著）
- (5) 一般常識・時事（成美堂出版）  
この2冊をクイズだと思って解く。
- (6) 教員養成セミナー6月号から8月号の特集の問題集をやる。他の都道府県の問題も  
やってみよう！！
- (7) 神奈川、千葉、埼玉、大分、熊本あたりは、東京の問題に傾向が似ているそう  
です。（他の掲示板の情報。）たまに、他の都道府県の問題を解いてみると良いでし  
ょう。）
- (8) 新聞を読む。過去問題と照らし合わせて、大事なところは、スクラップ。  
読んでみると、結構、理科の分野の記事なんかもありますよ。
- (9) 東京都や教育委員会のHPをまめにチェックして、ノートにメモ。  
庭園や公園など、遊びに行きたいところがあったら、インターネットで  
検索してみる。それも勉強。わたしは、今回採用試験で東京について勉強をして、  
東京には、様々な名所があることを知りました。  
東京については、楽しく勉強することが出来ました。
- (10) 歴史や西洋美術史についての漫画〔子供向け〕を図書館で借りて、大まかな歴史  
の流れを知りました。
- (11) 中学生用の地図や、高校生用の歴史、国語の便覧を辞書がわりにして、  
勉強をしていて分からないところは、必ず調べました。

専門教養（音楽）

時事通信社の「中高音楽の頻出問題」、過去問をひたすら解く。

最初は、民族音楽、邦楽、わからねーよ！！と嘆きたくなるけども、  
繰り返し解くうちに出来るようになる！！

辞書で調べるのも良いけど、

今は、インターネットで楽器の音も聞けるから、

知らない民族楽器が出てきたら、インターネットで検索をしてみると、  
いいと思います。

参考になったのは、

オンライン音楽室

<http://www.ongakushitsu.net/WORLD/KOREA/index.html>

とにかく、調べる！に限る！！そのうち、覚える！！

中学校の教科書と指導書に目を通すことも忘れずに！！

「教育音楽用語」という本も出ているそうです。

論文

わたしは、最初10時間考えても書けませんでした。

しかし、お世話になった大学の先生（東京都の論文の添削をしていた方）の  
一言で書けるようになりました。

それは、

「別に受験者であるあなたがたにアイデアを求めているわけではない。

突拍子もない考えをもっていないか、とか、

一つひとつの経験から何を学んだかを知りたいのだ。」

です。

書けない人は、

時事通信社の「論作文パスライン」、

大阪教育図書の「教員採用試験 教員採用試験のための小論文 合格へのEメール講座」

この2冊でよく他人の論文を読むとよいでしょう。

読んで読みまくって、自分がいいと思うものは、自分のものにするのです。

できれば、現職の先生や大学の先生に添削をしていただくと良いと思います。  
もし、どなたもいらっしゃらない場合は、色々な掲示板で他人のご意見をいただくのも良いと思います。通信の講座を活用するのも良いでしょう。

論文は、「他人に見せる！」そして、「文章のフレーズは短く！！読みやすく！！」  
これに限ります。

試験が近くなったら、1日1本は必ず書く！！

東京は、論作文重視だそうです。

総合して言えることは、

- (1) メモ魔になる。
- (2) ほんの少しだけの時間も大切にして、時間を有効に使おう！！
- (3) 毎日新聞を読もう！！必要であれば、切りぬき、ノートにまとめておく。  
これがやがて、集団活動にも役立つ。
- (4) 東京都教育委員会のHPをマメにチェックして、  
指導主事による公開授業や、説明会(3月か4月)に参加すると  
良いでしょう。東京都がいま、何を大事に考えているか、がよく分かります。
- (5) 辞書をひこう！！
- (6) 大学に、試験対策講座等があれば、徹底して活用する。  
うちの大学は、全10回くらいあって500円の受講費で、講座がありました。  
わたしは卒業してすでに6、7年たっていたけど、就職課の先生のご好意で  
参加させていただきました。専門教養と論文を受講しました。  
卒業生は、私の他にも数名いました。  
周りに受験生がいるのといないのとでは、気持ちも大きく変わってくると思いま  
す。

最後に

当日は、問題数の多さに圧倒されました。

1. 教職・一般教養
2. 専門教養
3. 論作文

の順で試験が行われますが、わたしは、教職・一般教養で  
相当疲れきってしまい、専門教養では、冷静に考えれば分かるようなところで  
たくさんミスをしてしまいました。

わたしは、模擬試験も予備校にも行かずに試験に臨みましたが、予備校はいかなくても、せめて模擬試験は受けておくべきだった！！ともものすごい後悔をしました。

時間との勝負！！だと思います。

## (2次試験)

私が個人面談で聞かれた内容をのせます。

来年受けられる方の参考になれば、と思います。

1. 最初に、模擬授業。導入の初めの部分のみ。(講師経験があるからかもしれませんが、挨拶と今日学ぶことを話し始めたところで切られた。「よかったです。」と面接官に言われたが、果たして本当か?)
2. 指導案について、5分間の説明。  
(評価について、つままれたらどうしよう、と内心ひやひやしていたが、これまた、何も言われなかった。わたしは、小中音楽なので、わらべうたの指導案を書いたが、なぜ、わらべうたを学ばせたいのかを現在の子どもたちの実情をふまえて、説明をした。)
3. 指導案について。なぜ、この題材を選んだのか。
4. ボランティア活動について具体的に説明。
5. 歌わない生徒についての指導
6. いじめについて
7. 体罰について(どの法律に体罰をしてはいけないことが書かれているかも聞かれました。答えは「学校教育法」)
8. 印象に残った先生
9. 小学校と中学校についての違い
10. どんな教師を目指すか
11. 教師の資質とは
12. 特別支援教育について
13. 授業以外の活動は、何がありますか?( 道徳がある)
14. (13の流れで)道徳教育について

思いつくままに、挙げてみました。

考えてみれば、春に行われた東京都の説明会や、指導主事による道德の授業を講座にいったときに、特別支援教育や道德教育を東京都は大事に考えているのだ、という印象を受けていましたので、この面接官の方に質問された内容はとても納得が이었습니다。もし、来年チャレンジされる方は、是非東京都のそういった説明会や公開授業にも足を運ぶと良いと思います。

わたしの面接は、終始和やかに終わりましたが、ひとによっては、  
圧迫面接になるそうです。

#### 集団活動

下記のようなグラフが与えられました。

子どもたちから見る、自分たちがもっている能力

- 明るさ (50%くらい)
- 忍耐力 (たしか25%くらい)
- 決断力 (忘れたけど、低い。)

企業が学生に求めている資質

- 忍耐力
- 問題解決能力
- オレは市民だ!!という意識(こんな言葉じゃないけど。)

この2つのグラフから、問題解決をしました。

例年のごとく、AさんからFさんまで、6人で活動します。

2分間・・・自分の考えをまとめる。

45分間・・・話し合い

5分間・・・自分の考えをまとめる。

2分間・・・発表。そのときに、

1. 解決すべき課題
2. 解決策
3. 話し合う前に自分の考えにはなかったこと。(だっけ?)

面接官より質疑応答。

このようなかんじでした。

感想としては、

わたしたちは、小中音楽と小中美術という校種ということもあってか、  
地域に密着したボランティアをさせよう、  
(たとえば、音楽や美術の作品をつくること)だとか、  
そういう方向で和やかに話が進みました。

が、しかし!!!!!!!!!!!!

面接官の質疑応答のときに、面接官の人が求めていた答えが分かりました。  
それは、「企業側の求めている資質こそが、現代の若者には足りない部分のだ!!」という  
ことについて、討論してほしかったそうなのです。

.....。(AさんからFさんまで、一同啞然)

それを面接官から通告され、.....視点、論点がずれていたことに  
やっと気がつきました。

言われてみれば、以前の新聞に、「企業が大学生に求める資質」として  
これらのものが挙げられていたように思います。

日ごろから、新聞を「問題意識をもって」読む、ということが  
大事だと思います。

今回、面接を初めて受けてみた感想は、  
「いくら取り繕おう!と思っても、地が出てしまうな。日ごろから  
自分を高めよう!!としなくちゃ、だめだな。高めていこう。」  
でした。

面接の技(元試験官の先生より)

1. 面接官は、あなたの癖をみています。

わたしは、3人の元面接官だった先生から、模擬面接をしていただきました。  
そのときは、泣き出したくなるような圧迫面接。

そのときに、おっしゃっていただいたのが、

「わたしは答えに困ったときに、口をあけたまま下を向くクセがある。」ということ。アホな子みたいでしょう（笑）指摘されたとき、とても恥ずかしかった。生徒や保護者とのトラブルがあったとき、この人はどんな対応をするのだろうか、というところも見られているそうです。日ごろの何気ない癖を他人に指摘してもらおうと良いと思います。

## 2．論理的に話す。

何か質問をされたときは、

「はい、3点申し上げます。1点目は、...です。なぜなら...と思うからです。2点目には、...」という感じで話すとうかがいやすいように聞こえるそうです。ただ、だらだらとしゃべらない！！しゃべっている内容は大事なことじゃなくても良い！！とのこと。大切なのは、話し方！！

## 3．話している人のほうに向かって、お尻ごと体を動かす。

面接官は3人います。集団討論では、受験生が自分のほかに5人います。どなたかが話をされているときは、話をしている人のほうに、体ごと動かすこと！！そうするだけで、話している人はとても嬉しい気持ちになるものだそうです。普段の生活でも、誰かを呼びとめたとき、首を少し向けただけで反応されるよりも、体ごとこっちに向けてくれると嬉しい気持ちになりませんか？

## 4．笑顔

とにかく笑顔です。

とても大事です。どんなに困った質問でもいつも笑顔でいること。笑顔でいられると、面接官側も意地悪な質問をしづらくなってきます。逆に困った顔をしていると、余計困らせてやりたくなるそうですよ。

長くなりましたが、ここまでお読みいただき、ありがとうございました。

少しでも、皆さんのお役にたてればと思っております。  
皆さんの健闘を祈ります。